

社会資本総合整備計画（水の安全・安心基盤整備） 事後評価書

平成 29 年 1 月 24 日

計画の名称	1 伊奈町における都市施設整備事業																																	
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度 (5年間)					交付対象	伊奈町																											
計画の目標	①下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。																																	
計画の成果目標（定量的指標）	①下水道処理人口普及率を 72% (H22) から 75% (H26) に増加させる。																																	
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">① 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口（人）／総人口（人）</th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H22当初)</th> <th>中間目標値 (H24末)</th> <th>最終目標値 (H26末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>72%</td> <td>73%</td> <td>75%</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>											① 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口（人）／総人口（人）	定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)		72%	73%	75%											
① 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口（人）／総人口（人）	定量的指標の現況値及び目標値			備考																														
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)																															
	72%	73%	75%																															
全体事業費	合計 (A+B+C)	3 8 7 百万円	A	3 8 7 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)		0.0%																							

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
伊奈町下水道事業審議会条例に基づき、伊奈町下水道事業審議会により評価	平成29年1月24日
	公表の方法
	町ホームページに掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A1 下水道事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
伊奈処理分区																	
A1-1	下水道	一般	伊奈町	直接	—	汚水	新設	4号幹線枝線整備	L=163.0m	伊奈町						10	
A1-2	下水道	一般	伊奈町	直接	—	ポンプ場	新設	ポンプ場増設工事	ポンプ2基, 2.1m ³ /分, 機械設備一式	伊奈町						82	
A1-3	下水道	一般	伊奈町	直接	—	汚水	新設	1号幹線枝線整備	L=460.5m 氷川団地	伊奈町						32	
											合計	124					
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
											合計						

番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
合計																
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<p>・下水道処理人口普及率が72%(H22)から74%(H26)に増加した。結果、2000人が下水道を使用できることとなった。</p>			
II 定量的指標の達成状況		指標①（下水道処理人口普及率）	最終目標値	75.00%	<p>目標値と実績値に差が出た要因 私道の町道移管および整備に合わせて下水道を敷設する予定であったが、町道整備の進捗が計画通りいかなかったため、私道部分の下水道整備ができなかった。</p>
			最終実績値	74.00%	
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					
3. 特記事項（今後の方針等）					
<p>平成22年度から平成26年度までの5年間で社会資本総合整備計画による下水道事業を行ったが、整備の遅れもあり定量的指標の目標値を達成することはできなかった。今後も、事業認可区域の整備を進めていき安全安心なまちづくりに取り組んでいきたい。</p>					